トピック（テーマ）			高井・水内地域の文学（1）
ねらい			風土が文学に与える影響は大きい。高井・水内地域について代表的な文学作品について調べる。
キーワード			中山晋平　須坂小唄　農村雑記　町田惣一郎　栗生純夫　一茶の生涯　寛政三年帰郷日記　与謝野鉄幹　晶子　泉潤三　島田九万字　林芙美子　放浪記　うず潮　志賀高原　船橋聖一　散り散らず　壷井栄　三好達治　深田久弥　藤村　千曲川のスケッチ　飯山　蓮華寺　壷井栄　二十四の瞳
概要を知るためのツール	1	書名	長野県文学全集　第2期/随筆・紀行・日記編 第1巻
		著者名	
		出版社	郷土出版社
		出版年	1989.11
		内容紹介	内容:みちの記 森鷗外著. 戸隠山紀行 山田美妙著. かけはしの記 くだもの 正岡子規著. 碓氷 東信名勝の一二 徳富蘆花著. 吾が少年時代(抄) 久米正雄著. 北信の遊跡(抄) 秋の岐蘇路 雪の信濃 田山花袋著. 歓楽の時、活動の時 樹木の記憶 島崎藤村著. ほか
資料リスト	1	書名	破戒 （ワイド版岩波文庫）
		著者名	島崎藤村／著
		出版社	岩波書店
		出版年	2006.6
		内容紹介	新しい思想を持ち、不合理な社会を変えて行こうとする被差別部落出身の小学校教師瀬川丑松は、ついに自らの出自を告白−。丑松の烈しい苦悩を通して、藤村が四民平等は名目だけの明治文明に鋭く迫る。
	2	書名	定本高野辰之
		著者名	芳賀　綏／監修
		出版社	郷土出版社
		出版年	2001.4
		内容紹介	「春が来た」「春の小川」「故郷」「紅葉」「朧月夜」などの作詞者、高野辰之は、国学者・教育者としても活躍した。多方面にわたる業績をはじめ、その生涯、人間像を浮き彫りにする。
	3	書名	唄の旅人中山晋平
		著者名	和田登／著
		出版社	2010.2
		出版年	岩波書店
		内容紹介	大正・昭和の大ヒットメーカー中山晋平の、等身大の姿を描き出す本格評伝。『信濃毎日新聞』連載を再構成して書籍化
	4	書名	山帰来
		著者名	栗生純夫／著
		出版社	信濃郷土誌刊行会
		出版年	1946
		内容紹介	句集

	5	書名	うず潮
		著者名	林芙美子／著
		出版社	大和書店
		出版年	1964
		内容紹介	林芙美子は長い放浪生活の果て、中野市出身の画家手塚緑敏と結婚、戦時中神林温泉に疎開し、じっくり静養期を送った戦後の彼女の立ち上がりの作品が毎日新聞に連載された『うず潮』であった。
	6	書名	二十四の瞳（ポケット日本文学館）
		著者名	壷井栄／著
		出版社	講談社
		出版年	1995.8
		内容紹介	瀬戸内海べりの岬の分教場に赴任してきた「おなご先生」。戦争による不幸と苦難を十二人の生徒たちとのりこえるが…。 この名作は神林温泉で昭和26年に書かれた。壷井栄に神林温泉を紹介したのは林芙美子であり、芙美子は平林たい子、宮本百合子、佐多稲子と連れだって時々神林温泉に壷井栄を訪れたという。
	7	書名	山果集
		著者名	三好達治／著
		出版社	四季社
		出版年	1935.11
		内容紹介	三好達治は志賀高原を愛して来ていたが、作品のテーマとして神林温泉や発哺の自然をみつめていた。
雑誌	1	論題名	ー水の恵みー妙高戸隠連山国立公園
		著者名	
		雑誌名	地域文化
		出版年	2016
		巻号頁数	第119号
	2	論題名	「信州の町」ー飯山ー
		著者名	
		雑誌名	地域文化
		出版年	2012
		巻号頁数	第102号
インターネット	1	サイト名	国会図書館サーチ
		URL	https://iss.ndl.go.jp/
		概要	キーワードにより、関連する図書、記事論文などを探すことができる
	2	サイト名	信州ブックサーチ
		URL	https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html
		概要	キーワードにより、関連する図書、記事論文などを探すことができる